



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,028	△10.2	375	△60.0	242	△75.5	218	△60.5
2019年3月期第3四半期	17,843	7.9	938	△9.3	991	△5.9	554	11.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △249百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 290百万円 (△70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	66.02	—
2019年3月期第3四半期	167.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	26,705	12,539	38.2	3,080.00
2019年3月期	28,563	12,955	36.4	3,139.89

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,208百万円 2019年3月期 10,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△8.4	600	△53.3	400	△69.2	310	△57.8	93.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	3,362,163株	2019年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	47,809株	2019年3月期	47,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	3,314,387株	2019年3月期3Q	3,314,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の長期化や混乱する欧州、中東情勢など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、2019年度を初年度とする第6次3カ年計画をスタートさせ、国内事業および海外事業の基盤強化に努めてまいりましたが、中国景気の減速を背景に、海外子会社の天津虹岡鑄鋼有限公司および南通虹岡鑄鋼有限公司の業績が低調に推移し、また、国内においてもデンスパーの売上が回復せず、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、160億2千8百万円（前年同期比 10.2%減）、営業利益 3億7千5百万円（前年同期比 60.0%減）、経常利益 2億4千2百万円（前年同期比 75.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 2億1千8百万円（前年同期比 60.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 鑄物関連事業

鑄型は、特殊鋼用鑄型の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーおよび国内電炉メーカーの需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鑄物は、各主要顧客先の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。大型産業機械用鑄物は、電気自動車の部品用プレス機向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鑄物は、下水道鉄蓋や電線共同溝用鉄蓋は前年同期を上回りましたが、機械鑄物が頭打ちとなり、売上高は、前年同期並みで推移しました。デンスパーは、主要ユーザーの需要が回復せず、売上高は、前年同期を下回りました。天津虹岡鑄鋼有限公司、南通虹岡鑄鋼有限公司は、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、133億5千7百万円（前年同期比 11.4%減）、セグメント利益 2億9千6百万円（前年同期比 66.1%減）となりました。

## ② 環境関連事業

環境装置事業は、保守・メンテナンス工事の受注が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、9億8千3百万円（前年同期比 12.6%減）、セグメント利益 6千4百万円（前年同期比 13.1%減）となりました。

## ③ その他の事業

送風機は、民間設備投資が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、半導体向けの需要減により、売上高は、前年同期を下回りました。KCカーボンセラミックスは、銅関連が好調でしたが、ベアリング関連の需要が低迷し、売上高は、前年同期を下回りました。KCメタルファイバーは、摩擦材全般の需要減により、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、16億8千7百万円（前年同期比 2.7%増）、セグメント利益 1億6千万円（前年同期比 3.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、150億円となり、前連結会計年度末に比べ15億2百万円減少いたしました。これは、主として環境関連事業大型案件の回収が進んだことなどにより、受取手形及び売掛金が15億2千6百万円減少したことなどによります。

固定資産は、117億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千5百万円減少いたしました。これは、主として有形固定資産が2億2千4百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、267億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億5千7百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、109億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千万円減少いたしました。これは、主として短期借入金が8億5千7百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が5億8千3百万円、未払法人税等が2億5千1百万円減少したことなどによります。

固定負債は、32億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億6千1百万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が11億6千9百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、141億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億4千2百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、125億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千5百万円減少いたしました。これは、主として非支配株主持分、為替換算調整勘定が減少したことなどによります。

この結果、総資産が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.4%から38.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,892	1,851
受取手形及び売掛金	9,076	7,550
電子記録債権	1,979	1,856
商品及び製品	1,129	1,221
仕掛品	1,244	1,300
原材料及び貯蔵品	826	868
その他	410	452
貸倒引当金	△56	△99
流動資産合計	16,502	15,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,916	2,912
機械装置及び運搬具(純額)	4,155	4,019
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,282	1,198
有形固定資産合計	9,574	9,349
無形固定資産		
	230	210
投資その他の資産		
投資有価証券	2,086	2,006
繰延税金資産	—	3
退職給付に係る資産	82	—
その他	86	134
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,255	2,144
固定資産合計	12,060	11,704
資産合計	28,563	26,705

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,377	3,794
短期借入金	4,040	4,898
未払法人税等	264	13
賞与引当金	300	149
その他	2,341	2,088
流動負債合計	11,325	10,944
固定負債		
長期借入金	3,908	2,739
繰延税金負債	175	215
未払役員退職慰労金	9	—
退職給付に係る負債	174	245
その他	14	20
固定負債合計	4,283	3,221
負債合計	15,608	14,166
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,277	7,330
自己株式	△55	△55
株主資本合計	9,826	9,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	421
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	155	△11
退職給付に係る調整累計額	△70	△79
その他の包括利益累計額合計	580	328
非支配株主持分	2,547	2,331
純資産合計	12,955	12,539
負債純資産合計	28,563	26,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	17,843	16,028
売上原価	14,832	13,542
売上総利益	3,011	2,485
販売費及び一般管理費	2,073	2,110
営業利益	938	375
営業外収益		
受取利息及び配当金	49	43
保険配当金	24	17
補助金収入	107	—
その他	38	24
営業外収益合計	221	85
営業外費用		
支払利息	118	103
支払手数料	1	53
その他	47	60
営業外費用合計	168	218
経常利益	991	242
特別利益		
投資有価証券売却益	—	33
特別利益合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	991	276
法人税、住民税及び事業税	259	85
法人税等調整額	31	28
法人税等合計	290	114
四半期純利益	700	162
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	△56
親会社株主に帰属する四半期純利益	554	218

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	700	162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△156	△79
繰延ヘッジ損益	1	3
為替換算調整勘定	△270	△326
退職給付に係る調整額	14	△9
その他の包括利益合計	△410	△411
四半期包括利益	290	△249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277	△32
非支配株主に係る四半期包括利益	12	△216



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,074	1,126	16,200	1,642	17,843	—	17,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	11	11	△11	—
計	15,074	1,126	16,200	1,653	17,854	△11	17,843
セグメント利益	873	74	948	155	1,103	△112	991

(注) 1. セグメント利益の調整額△112百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△158百万円、営業外収益が96百万円、営業外費用が△49百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋳物 関連事業	環境 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,357	983	14,341	1,687	16,028	—	16,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1	1	△1	—
計	13,357	983	14,341	1,688	16,029	△1	16,028
セグメント利益	296	64	361	160	521	△279	242

(注) 1. セグメント利益の調整額△279百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△250百万円、営業外収益が85百万円、営業外費用が△114百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。